

単孔式腹腔鏡下手術 (Single Port Surgery) が一部の領域では普及し始めている。この技術が持っている問題点は、①限られた領域から 2 本の鉗子が術野に挿入されるので、鉗子が左右交差して操作が困難になる、あるいは、交差しない工夫を行った場合でも、狭い術野で鉗子がバッティングしあう点がある。交差するケンブリッジ方式の鉗子の場合には、鏡を見ながら鉗子进行操作するに似て、支点を中心に鉗子は反対方向に動くので、脳と手が学習している基本的運動原則と対立することになる。腹腔鏡下手術でも、カメラの向きの反対側から操作しようとする、左右が逆転して操作の難易度が上がる。そこで、鉗子が交差しなくても良いように、大きく彎曲した鉗子が開発されている。この彎曲鉗子だと従来の腹腔鏡下手術で行っていた鉗子操作と本質的には変わらないと言えるが、やはり狭い範囲の中での操作となる。②カメラと鉗子がほとんど同じ角度から入るために、側方から術野を確認しにくい。血管などを剝離する場合には、安全性の確保が困難になる。この問題は、いろいろな角度から観察ができる軟性内視鏡を使用することで解決されるかもしれない。しかし、操作を行う方向以外からの観察画像を見ながら、制限された鉗子の操作で目的を達成するには、新たな訓練が必要になる。③腹腔鏡下手術に限らず、外科手術には術野を確保するために圧排鉗子が必要であるが、単孔式にこだわればこの問題を解決するのが困難であると思われる。④整容性の長所を指摘するが、単一の切開線であっても全体の切開線は大きくなり瘢痕が残る。臍部を利用することでこの欠点を補えるが、臍部の単一切開孔から行える手術の種類は制限される。⑤教育上の問題を考えるとき、通常の腹腔鏡下手術の一領域として行えるように、術式と器具の改良などが行われれば、この術式の長所を生かせる手術には適応されることが考えられる。

技術上の困難性から事故が起きやすくなる術式は普及しない。そこで、単孔式腹腔鏡下手術が持っている技術的困難性を克服する器具などの改良、術者の訓練、対象手術の選択を慎重に行うことで、この術式の普及が図られるのではないかとと思われる。一方、整容性を追求するには NOTES、細径鉗子の利用なども考えられ、柔軟・慎重に対処することが望まれる。

(東原英二)

日本内視鏡外科学会雑誌

(第 14 巻 第 4 号) 2009 年 8 月 15 日発行・隔月刊

Journal of Japan Society for Endoscopic Surgery (Tokyo)

1 部定価：会員には毎号送付されます。その他については、1 部定価 2,940 円 (本体 2,800 円 + 税 5%) となります。

2009 年 年々ぎめ予約購読料：17,160 円 (税込) (配送料：医学書院負担)

編集・発行：日本内視鏡外科学会 (代表：北島政樹)

〒112-0012 東京都文京区大塚 5-3-13 小石川アーバン 4F 一般社団法人学会支援機構内

☎ 03-5981-6011 (Fax 03-5981-6012/E-mail: jses@asas.or.jp) (担当：佐々木、小山)

<http://www.asas.or.jp/jses/>

Published by Japan Society for Endoscopic Surgery, 4F, 5-3-13 Otsuka Bunkyo-ku, Tokyo, 112-0012, Japan

©2009, Printed in Japan

発売：株医学書院 (代表：金原 優) (本誌担当：阿部、田村、安部) <http://www.igaku-shoin.co.jp/>

<http://www.igaku-shoin.co.jp/mag/jses/>

〒113-8719 東京都文京区本郷 1-28-23 (振替口座 00170-9-96693 番)

本誌編集室直通 ☎ 03-3817-5707 (Fax 03-3815-7802/E-mail: jses@igaku-shoin.co.jp)

販売部直通 ☎ 03-3817-5659・5660 (Fax 03-3815-7804)

印刷所 横山印刷株 ☎ 03-3622-6161 (Fax 03-3625-1591)

広告申込所 (有文京メディカル) ☎ 03-3817-8036 (Fax 03-3817-8044)

本誌の内容を無断で複写・複製・転載すると、著作権・出版権の侵害となることがありますのでご注意ください。

●原著

腹腔鏡下腸閉塞手術における MDCT を用いたガストログラフィン造影 CT の有用性

.....山本祐司・他 愛媛大学大学院臓器再生外科

●症例報告

内視鏡整復後に腹腔鏡補助下回盲部切除を行った腸重積合併回腸悪性リンパ腫の 1 例

.....佐々木邦明・他 川村病院外科

腹腔鏡下手術にて診断・治療した子宮広間膜裂孔ヘルニアの 1 症例

.....千野佳秀・他 第一東和病院内視鏡外科センター

小腸出血に対して腹腔鏡下手術に併用した内視鏡が有用であった 1 例

.....森本 守・他 医療法人豊田会刈谷豊田総合病院外科

スポーツヘルニアに対して腹腔鏡下鼠径ヘルニア修復術を施行した 1 例和田英俊・他 浜松医大第一外科

腹腔鏡手術中の膀胱損傷で診断が得られた鼠径部膀胱ヘルニアの 1 例磯野忠大・他 浜松医大第一外科

高度慢性胆嚢炎を合併した左側胆嚢結石症に腹腔鏡下胆嚢摘出術を施行した 1 例

.....小泉 大・他 自治医科大学消化器一般外科

多剤耐性肺結核症に対して施行した胸腔鏡補助下肺葉切除術の 1 手術例荒井宏雅・他 横浜市大外科治療学

●手術手技

腹腔鏡下胃癌手術における左側アプローチによる迷走神経温存術福永 哲・他 癌研有明病院消化器外科

●私の工夫

腹腔鏡下大腸切除術における安全な体位固定器具の改良杉本起一・他 順天堂大学下部消化管外科

他に症例報告数編、但し頁の都合により変更があります。ご諒承下さい。